

みちしるべ NO. 12

学校教育目標「自分から行動できる子・すすんで学ぶ子・たすけ合う子・きたえる子」



学びあい 支えあい 高めあい 笑顔あふれる学校
優しさと厳しさと温かさで
子どもを鍛え、育む地域の学校を目指して



豊かな心を育てる道徳・体験活動の取組

校長 川島 正晴

稲刈りを終えた田んぼに渡り鳥が到来し、本格的な秋になりました。

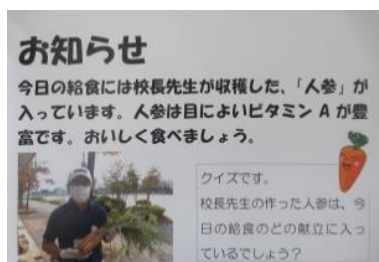
気温が一気に下がり、寒さが体にこたえる10月半ば、子どもたちは、元気いっぱい朝マラソンをして、体力向上に取り組んでいます。

9月末の校庭キャンプファイヤーでは、保護者の皆様にご支援・ご協力をいただき、林間学校でできなかった楽しい集いを実現できました。5・6年生の子どもたちは、山の中とはひと味がう思い出を創ることができました。皆様のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。



さて、幸手市では、毎年11月1日から11月19日が幸手市小・中学校道徳週間になっています。毎年この時期は「彩の国教育の日」や「人権教育強化期間」と重なっており、この前後の時期も含めて、道徳や人権について重点的な取組をおこなっています。本校では、次の二つを今年の取組として予定しています。地域の皆様もぜひご参加ください。(担当:教頭 48-0950)

- ①10月13日(木)夢と豊かな心をはぐくむ講演会 講師:青木 智美 様(元水泳日本代表選手)
- ②11月1日(火) 開校150年記念道徳特別授業 気象予報とSDGs 講師:平井 信行 様



物価の高騰により食材の値上げが続いており、幸手市からは一人毎月100円の補助をいただいています。それでも厳しい状況の中、地域の皆様の御協力により学校の畑は充実しています。子どもたちも「収穫の秋」を迎えました。枝豆はゆでて塩を振り、職員室にも「おすそ分け」が届きました。今年拡張した畑で収穫されたにんじんやかぼちゃは、給食で何度も使われます。

秋を感じる食材とともに、紅葉して落ちた葉を使い、1・2年生は焼きいもを計画中です。稲刈りをしたお米をおいしくいただくのに、3年生は飯盒炊さんを計画中です。やりたいことを自分たちで計画し、進めていく権小の探究活動は、秋とともに深まっていきます。保護者や地域の皆様の参加も大歓迎。地域ぐるみで心の豊かな子どもたちに育てていきましょう。